水辺の生き物　かくれんぼ

時　期	春～夏
時　間	1～2時間
場　所	川原，小川など

○川原に出かけ，水辺や川原で遊ぶ。
○水の感触を楽しんだり，生き物を探したりして遊ぶ。

ねらい

親しむ

・水辺で遊ぶ面白さを味わわせる。
・水辺の生き物を探し，触れたり観察したりすることを通して興味や関心を育てる。
・水で遊ぶ楽しさや心地よさを感じさせ，水に親しむ態度を育てる。

活動展開例

準備物	・タオル　・濡れてもよい靴（かかとのあるもの）　・帽子　・飼育箱　・生き物図鑑		
展開	時　間	活　動　内　容	留　意　点
	事　前	○水の中の生き物に関する絵本を見る。	・日頃より，機会を捉えて，幼児の興味や関心を高めておく。
	10分	○教師の話を聞く。	・川には危険な場所があることを知らせ，安全に留意する。特に石の上は滑りやすいので気を付ける。
	15分	○近くの水辺や川原に出かける。	・行き帰りの交通安全に留意する。 ・幼児の体調管理に十分配慮する。
	30分	○川に入って，生き物を探す。	・怪我をしないように，上履きなどかかとのある靴，帽子を着用させる。 ・石の下や，岸の陰など，生き物が住んでいそうなポイントを知らせる。
	10分	○見つけた生き物を，飼育箱の中に入れる。 ○生き物を観察する。	・採取した生き物は飼育箱に入れ，できるだけ幼児が自由に観察できるようにしておく。その際，採取しすぎないよう注意する。 ・日差しが強い所や暑い日は，飼育箱の水温が上がってしまうので，こまめに水を取り替える。

展開	20分	○どのようなところに生き物がいたか思い出し，そっと元のところに返す。	・生き物図鑑を用意しておくと名前を調べることができるが，あまり厳密な検索は必要ない。 ・幼児が採取した生き物を飼育したいと申し出たときは，その生き物にとってどんなところが住みやすいのかを考えるよい機会になる。幼児の疑問や考えを生かしながら，生き物の命の大切さを感じられるようにする。
	事 後	○生き物を飼う。	・実際に生き物を飼育する際には，その生き物にとって住みやすい環境を考え，試したり工夫したりしながら飼育できるようにする。

活用ガイド

川原の石で遊ぼう！！

いろんな
お顔
(ˆ 〇 ˆ)

みずきり

何回跳ねるかな？
平らな石を見つけるのがポイント！

ザリガニを釣ってみよう！！

身近な小川等でザリガニを釣ってみよう。木の枝や竹などに糸を結び付け，えさはスルメなどを付けましょう。いろんなエサで試してみるのもおもしろい！

【裏技！➡ 豚肉(生)で釣ると
よく釣れますよ!！】